

2017 年度事業計画

I 事業の実施方針

地域住民のニーズに合わせた学びの機会と社会的課題に応じた教育の場を兼ね合わせた「学びの場」を対象地域で実施していくことで、地域の中での教育サービスの展開とコミュニティづくりを支えていく。特に放課後学びスペースアシストと日本語教室だんらん、神戸こども探険隊を地域の中でのコミュニティづくりの基軸として事業展開するとともに、学際 IROHA プロジェクト、スタディー旅、こころざし支縁プロジェクト、を通して事業全体を充実、発展させていく。さらにイベントとして、北野こくさい夏祭り、北野ギャザリングを実施する。また今年度から学童保育所を開設し、継続的に安定した事業展開を行える基盤づくりを行う。

II 事業の実施に関する事項

1 特定非営利活動に関わる事業

(1) 放課後学びスペースアシスト

【定款における事業名】

青少年に対する学習支援事業

青少年に対する学習支援活動全般に携わるボランティアの育成事業

【内容】

学校でも家庭でもできない教育を、地域との連携の中で模索していく。家庭の経済状況に対する配慮の強化を図り、アシストの理念と保護者のニーズとのすり合わせを進める。また地域の地縁団体との連携を強化し、その地域の特徴や課題を把握した上で子どもたちとどのように学び合えるかを考えていく。

【経緯】

放課後の学習環境格差の是正と、子どもたちの居場所づくりや地域コミュニティ形成をテーマとした小・中・高校生向けの放課後学習支援教室として開室したが、保護者のニーズと地域課題を知るにつれて、子どもたちだけでなくより広い世代を巻き込んだ学びの場が必要だと考え、上記のような事業内容に変更した。

【目的】 子どもたちの今と将来のための学びの場を提供する。

【今年度目標】 20人

【事業の対象者】 小・中・高校生

【実施場所】 甲子園

【実施日時】 2017年4月1日～2018年3月31日の金曜日 18時半～20時半

【収入】 5,000円×人数(1時間) 8,000円×人数(2時間)

※前年度より継続の場合4～6月は1時間3,500円、2時間5,500円

【支出】 133,440円

・部屋代81,600円(金曜日:1回1,700円×4回×12ヵ月)

・交通費51,840円(電車:阪神三宮-甲子園540円×4回×2人×12ヵ月)

【実施場所】 学園都市

【実施日時】 2017年4月1日～2018年3月31日の月曜日 18時半～21時

【収入】 5,000円×人数(1時間) 8,000円×人数(2時間)

※前年度より継続の場合4～6月は1時間3,500円、2時間5,500円

【支出】 145,040円

- ・年会費 2,000 円
- ・部屋代 72,000 円 (月曜日 : 2 時間半 1,500 円×4 回×12 ヲ月)
- ・交通費 71,040 円 (電車:新神戸-学園都市 740 円×4 回×2 人×12 ヲ月)

【実施場所】 六甲

【実施日時】 2017 年 4 月 1 日~2018 年 3 月 31 日の木曜日 16 時半~19 時半

【収入】 8000 円×人数 (2 時間)

【支出】 7,200 円

- ・交通費 7,200 円 (電車 : 阪急三宮 - 六甲 150 円×4 回×1 人×12 ヲ月)

【予算】

<支出>(単位 : 円)

	部屋代	交通費	合計
甲子園	81,600	51,840	133,440
学園都市	74,000 (うち年会費 2,000 円)	71,040	145,040
六甲	0	7,200	7,200
合計	155,600	130,080	285,680

<収入>(単位 : 円)

	生徒数(のべ人数)	合計
甲子園	小学生 30 人・中学生 56 人・高校生 12 人	741,500
学園都市	小学生 81 人・中学生 35 人	667,000
六甲	小学生 12 人、高校生 12 人	192,000
合計	小学生 123 人・中学生 91 人・高校生 24 人	1,600,500

(2) 神戸こども探険隊

【定款における事業名】

青少年に対する学習支援事業

【内容】

神戸北野地域に住む小・中学生に対し、地域ならではの課題により発生した子どもたちの放課後の居場所の欠如に対して地域で連携しながら対策を考えていく。また集団で共に遊びや学びを行うことで、社会で生きる上で身に着けるべき力を養ってもらう。

【経緯】

神戸北野地域ならではの街づくりによって、子どもたちが安心して放課後を過ごすことのできる場所が失われてしまった。そのため、地域の方々と共に協力しながら改めて子どもたちの居場所を考えなおし、同時に遊びや学びを通して他者とのつながりを実感しながら社会で生きる力をつけてもらうために実施された。

【目的】

放課後の時間を集団で過ごし、コンテンツを通して楽しみながら学び、他者との関わり方や自分の関心興味を発見してもらう。

- 【今年度目標】 10人
【事業の対象者】 北野地域の小・中学生
【実施場所】 三宮
【実施日時】 水曜日 15時～19時
【収入】 300,000円（神戸市からの補助金により実施）
【支出】 552,000円
・ 部屋代 192,000円（4,000円×4回×12か月）
・ 交通費 72,000円（300円×4回×5人×12か月）
・ ボランティア謝金 240,000円（1,000円×4回×5人×12か月）
・ 保険料 48,000円（1,000円×48回）

(3) 北野くん家

【定款における事業名】

青少年に対する学習支援事業

【内容】

学童保育所を開設し、地域の共働き家庭の子どもたちの放課後の安心安全な居場所を確保する。

【経緯】

北野地域での前年度までの事業実施をふまえて、より地域の実態に沿う居場所づくりを実施することを決めた。

【目的】

北野地域に不足している学童保育所を開設することで、地域の課題とされていた子どもたちの放課後の居場所を作ると同時に、その放課後の貴重な時間を新しい発見の場にしてもらい、保護者が安心して預けられる居場所づくりを目指す。

【今年度目標】 10人

【事業の対象者】 小学生

【実施場所】 北野

【実施日時】 通年（2017年6月1日開設予定）

【収入】 4,500,000円

- ・ 1,500,000円（利用料 15,000円×10人×10か月）
- ・ 3,000,000円（神戸市からの補助金取得予定）

【支出】 4,860,000円

- ・ 場所代 1,860,000円（155,000円×12か月）
- ・ 光熱費 300,000円（25,000円×12か月）
- ・ 消耗品費 300,000円（25,000円×12か月）
- ・ 人件費 2,400,000円（200,000円×12か月）

(4) 学際 IROHA プロジェクト

【定款における事業名】

社会問題・国際問題について理解を深めるための大人を対象とした学習会事業

【内容】

参加者それぞれが学びの分野を越えて実社会での問題を学際的に学び合うことで、自らを見つめ直し、普段の生活の中で新しい取り組みを生み出すきっかけを作り出すための学習会。

【経緯】

様々な分野で活動する人々が、自らの生活の中で直面する社会的問題について考えその根源を学び、また自らの行動がどのような意味を持ち、どのような社会的影響を及ぼすのかを多角的に捉えるために、分野を越えた学び合いをすることとなった。

【目的】

地域でともに学び合うコミュニティ形成とそこから具体的な社会的問題の解決に向けた、活動発足の場。

【今年度目標】 各回参加者 10 人

【事業の対象者】 地域住民、学生

【実施場所】 三宮、十三

【実施日時】 年 4 回（夏季、秋季、冬季、春季）

【収入】 20000 円（参加費 500 円×10 人×4 回）

【支出】 20000 円（場所代 1 回 5000 円×4 回）

(5) 日本語教室だんらん

【定款における事業名】

日本語非母語話者への日本語学習支援事業

【内容】

日本語学習支援教室を通してコミュニティづくりを行う。実際に日本語を使ってコミュニケーションを図りながら学べる場、つながりの場を提供する。

【経緯】

地域の定住外国人と地域住民との接点が不足しているという社会的課題の解決のため、日本語非母語話者の日本でのコミュニティづくりと社会参画を目的として、コミュニケーション中心の授業形式を行ってきた。また、文法学習を通じて、より日本語コミュニケーション学習への理解を向上させることも同時に行う。

【目的】

日本語非母語話者が日本語の勉強を楽しみながら地域とのつながりをつくる。また、日本語母語話者である地域住民が日本語非母語話者の日本語学習者への歩み寄りをはかる。

【今年度目標】 30 人

【事業の対象者】 日本語非母語話者

【実施場所】 三宮、王子公園

【実施日時】 月曜日 19 時～20 時半

水曜日 19 時～20 時半

木曜日 19 時～20 時半

【収入】 600,000 円（授業料：前期 500 円×20 人×4 回×6 ヶ月、後期 500 円×30 人×4 回×6 ヶ月）

【支出】 86,400 円

・交通費 86,400 円（電車：王子公園～三宮 300 円×12 回×2 人×12 ヶ月）

(6) 日本語教室 個別授業

【定款における事業名】

日本語非母語話者への日本語学習支援事業

【内容】

日本語学習を希望する外国人に対して、個々の能力、目的に合わせた個別授業を行う。

【経緯】

日本語教育を受けたいが、金銭的、時間的などの諸事情により日本語学校などに通うことが難しい外国人に対して、個別で授業を行うことで日本語教育を受ける機会を提供する必要があると考え実施することにした。

【目的】

個々の事情により個別形式での日本語教育の授業を希望する外国人に対して、それぞれの状況を鑑みながら教えることで短期間でも集中して学べる環境を提供する。

【今年度目標】 1 人

【事業の対象者】 日本語非母語話者

【実施場所】 三宮、王子公園

【実施日時】 4月～5月の月曜日～金曜日 9時半～12時半

【収入】 120,000円（授業料：60,000×2か月）

【支出】 0円

(6) スタディー旅

【定款における事業名】

海外の貧困地域における教育環境整備のための支援事業

【内容】

現地に赴き地域の実情を把握しながら、日本において行える支援を模索する。

【経緯】

地域の課題を解決する過程で、いかに国際的視点を取り込むかを考え、海外での実情を目の当たりにすることで、日本での活動内容をより一層深めたいと考えた。

【目的】

海外で実際の日常の生活を体験し、現地での「地域」に触れる。

【今年度目標】 参加者3人

【事業の対象者】 国際問題に取り組む学生・社会人

【実施場所】 海外

【実施日時】 年0～1回

【収入】【支出】 0円（参加費：本人の実費負担）

(7) こころざし支縁プロジェクト

【定款における事業名】

国内生産者のモノ作りにおける社会的価値創出活動の振興事業

【内容】

国内におけるモノ作りと現在における社会的問題との関わり方を考える。

【経緯】

社会的マイノリティと関連性のあるモノづくりの現場を理解することで、社会の問題そのものを考え、結果として現在の社会において必要なものを浮かび上がらせる為、勉強会を実施することとなった。

【目的】

国内におけるモノ作りを通しての社会的支援の実態を探る。

【今年度目標】 参加者10人

【事業の対象者】 社会的課題解決に従事する人、あるいはその対象者

【実施場所】 不定

【実施日時】 年1回

【収入】 5,000円（参加費500円×10人）

【支出】 5,000円（場所代1回5,000円）

(8) 北野こくさい夏祭り

【定款における事業名】

地域コミュニティ形成を目的とした交流イベントの実施事業

【内容】

子供向けのブースを出店し、地域の子どもたちとの交流をはかる。

【経緯】

前年度までの実施をふまえて、今年度もイベント参加。

【目的】

イベントを通して、実行委員会をはじめとする地域の方々との連携し、お祭りの後も共により良い町づくりのために協働できる関係作りをしていく。

【今年度目標】 200人

【事業の対象者】 小学生

【実施場所】 北野

【実施日時】 夏季

【収入】 40000円（参加費 200円×20人）

【支出】 10000円（ブース出店料 6000円+消耗品費 4000円）

(9) 北野ギャザリング

【定款における事業名】

地域コミュニティ形成を目的とした交流イベントの実施事業

【内容】

子供向けのブースを出店し、地域の子どもたちとの交流をはかる。

【経緯】

前年度までの実施をふまえて、今年度もイベント参加。

【目的】

イベントを通して地域の方々との連携を強化するとともに、地域住民に当法人や北野地域での実施事業の存在を知ってもらう。

【今年度目標】 100人

【事業の対象者】 小学生

【実施場所】 北野

【実施日時】 秋季

【収入】 10,000円（参加費 100円×100人）

【支出】 5,000円（消耗品費）